

## 令和6年第1回定例会一般質問

日 時 2月28日（水曜）、29日（木曜）、3月1日（金曜）  
 いずれも午前10時から  
 ※質問、答弁を含んで概ね1人45分

内 容 発言通告書（一般質問）のとおり

発言順	議員名	質問日（予定）
1	吹春 やすたか	令和6年2月28日（水曜）
2	村 山 ひでき	
3	鈴 木 成 夫	
4	小 林 正 樹	
5	清 水 が く	
6	岸 田 正 義	
7	五十嵐 京 子	
8	古 畑 俊 男	
9	渡 辺 ふき子	
10	遠 藤 百合子	
11	沖 浦 あつし	
12	坂 井 えつ子	
13	水 谷 たかこ	
14	安 田 けいこ	
15	水 上 洋 志	
16	た ゆ 久 貴	
17	高 木 章 成	令和6年3月1日（金）
18	斎 藤 康 夫	
19	片 山 かおる	
20	河 野 麻 美	
21	渡 辺 大 三	
22	森 戸 よう子	



# 一般質問の通告について

発言順

2

日曜議会用 残時間用 日曜議会時質問せず

令和6年2月13日  
(西暦 2024)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

村山ひでき

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>どうなる？どうする？小金井なかよし市民まつり～その2</b></p> <p>(1) 今年の市民まつりはどうなるのか</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①市の方針の確認と想定される問題点<ul style="list-style-type: none"><li>・庁内の意思決定過程の観点から</li><li>・市民参加の観点から</li></ul></li><li>②結論を出す前に行うべきことがあるのではないか</li></ul> <p>(2) 第1回から現在までの開催経過</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①これまでの歴史</li><li>②目的と意義</li></ul> <p>(3) 今後の市民まつりをどうするのか</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①見直しを前提とした場合の考え方について<ul style="list-style-type: none"><li>・事務局体制</li><li>・他市の事例</li><li>・補助金額</li><li>・市内の他イベントとの整理</li></ul></li><li>②リニューアルを模索するためには</li><li>③市の協力のあり方は</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

3

日曜議会用・残時間用・日曜議会時質問せず

令和 6年 2月13日  
(西暦2024年)

(宛先)

小金井市議会議員

小金井市議会議員

鈴木 成夫

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
誰ひとり取り残さない、切れ目ない子どもたちの支援実現のため、 幼・保・小連携の現状と課題について、市の見解を問う	
1. 子ども家庭部が実施する幼・保・小の円滑な連携について	
①円滑な連携のために行っている取組はあるのか	
②巡回相談を実施する中で、支援や配慮が必要な子どもたちと 支援機関をつなぎ、保護者に寄りそう支援を実現しないか	
③児童発達支援センターきらりは、専門機関として就学前後の 連携にどのように関与しているのか	
2. 新入生を迎える小学校の受入れ体制について	
①就学相談と支援先選定の流れ	
②教育委員会と子ども家庭部との情報共有方法	
③幼・保・小連携ツールとして作成した「さくらシート」活用 できていない原因は何か	
3. まずは担当者を配置して、担当部署の設置準備を始めないか	
①課題解消のため、日野市に例がある「発達支援課」の 設置を検討しないか	
②これまで明らかになった課題について、最後に市長と 教育長から、課題の解消に向けた認識と所感を伺う	

# 一般質問の通告について

発言順

4

日曜議会用 残時間用・日曜議会時質問せず

令和 6年 2月14日  
(西暦2024 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

小林 正樹

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 災害時の情報インフラとして「コミュニティFM」を活用しないか</p> <p>災害発生時に必要なのは確かな情報である。 現在、インターネット上では多くの情報が流される中、確かな情報を高齢者を含む全ての人が素早く受け取れる環境を整えることが求められる。</p> <p>(1) 東京都内での利用状況について (2) 災害時の効果について (3) 小金井市が独自に開設または利用する方法について (4) 小金井市でも「コミュニティFM」の活用を検討しないか</p> <p>2. 認知症対策の推進について</p> <p>既に多くの施策が行われているが、その具体的対策の好事例は様々ある。 本市でも積極的に取り入れることで、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていただける環境を整えていかなければならない。</p> <p>(1) 現在の取組と課題について (2) 認知症予防に「eスポーツ」を取り入れないか (3) 尊厳を守るケアの技術である「ユマニチュード」の普及・啓発を</p>	

日曜議会用 残時間用 日曜議会時質問せず

令和 6年2月14日  
(西暦2024年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

清水 かく

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p><b>1. <u>令和6年能登半島地震の被害状況を受けて小金井市が考えてい</u></b> <b><u>くべきこと</u></b></p> <p>今年の元日に発生した令和6年能登半島地震では多くの方が犠牲になり今なお避難生活を送られている。発生から50日余りが経過する中で、多くの課題が浮き彫りとなった。東京都防災会議が2022年5月に「東京都の新たな被害想定 首都直下地震等による東京の被害想定」を公表している。それによると、マグニチュード7クラスの首都直下地震の発生確率は今後30年間で70%とされ、今起きてもおかしくない状況である。能登半島地震で課題となっている点について、本市の状況を確認する。(日曜議会のつづき)</p> <p>(1) 能登半島では、各地で道路の亀裂や陥没、土砂崩れ等の幹線道路が被災し、復旧作業のための移動や支援物資の輸送などに支障が出た。災害時の観点も含め、本市における道路状況及び道路の考え方、在り方についての市の見解を伺う。</p> <p>(2) 日本法医学会が犠牲者131人を調べたところ、死因として最も多かったのが「家屋の倒壊による圧迫」で88人。全体の7割近くを占めているという報道があった。</p> <p>①家具転倒防止金具の市の補助状況及び設置状況を伺う。また、今後の全世帯設置に向けた市の取組みについて伺う。</p> <p>②耐震診断の受診率及び診断状況を伺う。また、受診率向上に向けた、今後の市の取組みを伺う。</p> <p>(3) 街を元気にするため、また地域組織として日々活動している「商店会」。街の見守り役でもある存在で、災害時に商店会が果たす役割は非常に大きいと考えるが、今後市が取り組むべき内容と、見解を伺う。</p> <p>(4) 自衛隊の災害派遣については、陸・海・空の自衛隊員で構成される「統合任務部隊」を編成し、最大1万4000人態勢で人命救助や救援物資の輸送など行い、現在は生活支援を行っている。災害時における本市と自衛隊との連携について再確認する。また、市における自衛官募集業務について伺う。</p> <p>(5) 被災地ではコメやパンなど炭水化物が多くビタミンが不足する傾向がある。災害時に非常食となる「防災植物」の周知・啓発活動を行わないか。</p>	







# 一般質問の通告について

発言順

8

日曜議会用・残時間用・日曜議会時質問せず

令和6年2月14日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

古畑俊男

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1 学童保育所の維持管理及び修繕について</p> <p>(1) 小金井市学童保育連絡協議会から毎年予算要望書が提出されている。要望内容についての優先順位の考え方や修繕等の具体的対応はどのようなになっているか。</p> <p>(2) 長期的には主管課の個別対応から一元的対応が必要と考えるが、短期的に今できることは何か。</p> <p>① 学校管理者との関わりについて</p> <p>② 委託事業者や父母会との関わりについて</p>	
<p>2 自らの命を守る「着衣泳」について</p> <p>(1) 来年度から市内一部公立学校にて「野村不動産ライフ&amp;スポーツ株式会社（メガロス武蔵小金井）」による水泳指導の委託化が予定されている。当該法人は、着衣泳の指導実績がある。指導内容に着衣泳を取り入れないか。</p> <p>(2) また当該法人とは、市と連携し、全世代のスポーツ振興及び健康増進を進めることを目的に「包括連携協定」を締結している。この協定に基づき市民を対象とした着衣泳の体験教室を開かないか。</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

9

日曜議会用 残時間用 日曜議会時質問せず

令和 6 年 2 月 15 日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

渡辺ふき子

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 多様性を尊重し全ての市民が安心して暮らせる小金井市に</p> <p>① 市内在住の外国にルーツを持つ子供や家庭が増えている。市民生活への支援は十分か。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小中学校における学習支援について、子供の状態に合わせた指導が行われているか</li><li>・学校以外の居場所や困りごとへの支援について</li></ul> <p>② 外国籍の人や障害のある人、聴こえに問題がある方にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及啓発を</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・災害時にも役に立つやさしい日本語パンフレットを作成しないか</li><li>・市役所の職員研修にやさしい日本語研修を取り入れないか</li></ul> <p>③ 市役所に多文化共生担当窓口を作るべき</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・国際交流の取り組みの現状</li><li>・生活等の相談窓口を設置しないか</li></ul> <p>④ 性の多様性への理解を深める対策を</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・パートナーシップ制度の活用状況について</li><li>・支援グッズを作成して、LGBTQアライ（支援者）を広げる取り組みを</li></ul> <p>⑤ 発達に障がいのある子どもと家庭への支援を</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・発達障害の子どもの早期発見と早期療育のため5歳児健診の導入を</li><li>・市立小学校の情緒障害学級設置の状況について</li></ul> <p>2 学校に行きにくい子どもと家庭を支援する取り組みを</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子供の居場所の現状は</li><li>・フリースクールへの通学に助成しないか</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

10

日曜議会用・残時間用・日曜議会時質問せず

令和 6 年 2 月 15 日  
(西暦 2024)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

遠藤百合子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1, 災害時に有用な「防災植物」の考え方の周知を</p> <p>被災後は食べ物不足や栄養の偏りが生じることがあり、身近にある食べられる野草はその手助けになる。</p> <p>(1) 防災植物の考え方を周知しないか</p> <p>(2) 防災植物に関する講師をお呼びし講習会を実施しないか</p> <p>2, 小金井市独自の特産品を考えないか</p> <p>各農家の方々のご努力により、個々のブランド品開発は盛んである。</p> <p>(1) 市独自の特産品づくりのためのチーム作りを</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

11

日曜議会用・残時間用・日曜議会時質問せず

令和 6 年 2 月 15 日  
(西暦 2024)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

沖浦あつし

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
第5次小金井市基本構想・前期基本計画 施策29 計画的な行財政運営 施策の方向性：公共施設マネジメントの推進  ファシリティマネジメントについて (その2) ①公共施設の計画的な修繕について ②公共施設の照明・空調設備の省エネ性能向上について ③公共施設の有効活用について	

# 一般質問の通告について

発言順

12

日曜議会用・~~残時間用~~・日曜議会時質問せず

2024年 2月 15日

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

坂井えつ子

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<b>1 安全でおいしく温かい小金井市の学校給食の維持向上を</b>	
学校給食調理業務について。現在直営で行っている2校（東小学校、本町小学校）を2026年4月から委託することが示された。これにより、市立小中学校14校すべての給食調理業務が委託となり、直営校がなくなる。	
(1) この2月、学校給食調理業務の委託に関する説明会が3回開催された。	
① 参加状況と質疑応答の概要について伺う。	
② 参加状況と質疑をどのように受け止めているのか。	
(2) これまで安全でおいしく温かい小金井市の学校給食を維持し続けられた要因は何か。	
(3) 直営校がなくなった状況で、どのように安全でおいしく温かい小金井市の学校給食を維持し、向上させていくのか。	
(4) 学校給食費の保護者負担について、市の考えは。	
<b>2 「香りのマナー」ではなく、香害・化学物質過敏症として捉えた周知を横断的に 行おう！ Vol.2</b>	
2023年第3回定例会で、各課での取り組み及び部署を超えた横断的な取り組みを提案した。	
(1) その後の各課における取り組みの状況は。	
(2) 「庁内横断的な周知をといたこともございましたが、そういったことも含めて取り組んでまいりたいと思います」と答弁した市長に伺う。横断的な取り組みの状況は。	
	以上

残時間用

令和 6 年 2 月 15 日  
(西暦 2024)

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

水谷 たかこ

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p><b>1 教育における子どもの権利の推進について</b></p> <p>【趣旨】「地方自治と子ども政策」自治体シンポジウム2023小金井が成功裡に終わった。「この経験を有意義にいかしていきます」と、令和6年施政方針にも明記されている。2023年はこども家庭庁が発足し、こども基本法が施行され、こども大綱が閣議決定された、こども・若者元年ともいえる年となった。本市では教育の場で子どもの権利が保障されているかを問う。</p> <p>(1) 不登校の状態にある子どもへの現状と、支援の実態、今後の検討現状は。</p> <p>(2) 校則の見直しは進んでいるか。</p> <p>(3) 子どもの意見を活かせる学校運営にするための仕組みを検討しないか。</p> <p><b>2 のびゆくこどもプランの策定と、保育の在り方検討について</b></p> <p>【趣旨】来年度はのびゆくこどもプランの策定年度である。これまで、保育定員の適正化や、市内での配置、公立保育園の役割などの検討を求めてきたが、市は「次期ののびゆくこどもプランの策定のタイミングで行う」との考え方であった。具体的には、どのように検討するのか。</p> <p>(1) これまでのニーズ調査で保育の必要量と区域について把握できるのか。</p> <p>(2) 保育の量の確保と、圏域の考え方について整理する場はどこになるのか。</p> <p><b>3 DXの推進で市民参加を進めよう</b></p> <p>【趣旨】コロナ禍で得たもののひとつとして、オンライン会議が一般的なものとなったことがある。会議の性質や委員の状況によってはオンライン出席のほうが適する場合もあり、DX推進と市民参加の保障の観点から、今後の在り方を考えよう。</p> <p>(1) オンライン出席に関する国等の指針や市の規定はあるか。</p> <p>(2) 市の審議会等におけるオンライン開催の現状は。委員からの要望はあるか。</p> <p>(3) オンラインによる傍聴の試行実施などを検討しないか。</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

14

残時間用

令和 6 年 2 月 15 日  
(西暦 2024)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

安田けいこ

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p><b>特定健診の近隣市乗り入れを進めよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・近隣市の乗り入れ状況はどうなっているのか</li><li>・医師会との調整は進んでいるか。課題は何か</li></ul> <p><b>災害時の避難所生活について考えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・避難所のトイレ問題への対応は</li><li>・ジェンダーの視点で避難所運営を</li><li>・避難所の災害対策用井戸のPFAS検査を！</li><li>・香害への配慮、平時から徹底を</li></ul>	





# 一般質問の通告について

発言順

16

日曜議会用・残時間用・日曜議会時質問せず

令和 年 2月 15日  
(西暦2024)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

たけあき

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1 ホームレスの方や生活保護受給者を対象とした貧困ビジネスについて</p> <p>(1) ホームレスの方への対応は</p> <p>(2) 悪質な業者に対しての市の対応は</p> <p>(3) 貧困ビジネス規制条例の検討を</p> <p>2 土地利用規制法について</p> <p>府中基地周辺も指定され、小金井市域も一部含まれている</p> <p>(1) 現在の状況はどうなっているのか</p> <p>(2) 住民への丁寧な対応や情報提供など、説明が必要ではないか</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

17

~~日曜議会用・残時間用・日曜議会時質問せず~~

令和 年 2月15日  
(西暦2024 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

高木章成

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1 「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2023小金井の成果について (1) シンポジウムを終えての市長のご所見について (2) 全体会と市長による報告について (3) 市民参加について (4) 子ども参加について (5) 参加者数と定員、オンライン参加について (6) 実行委員会の運営について (7) 事務局体制について (8) 教育委員会の関わり方について (9) シンポジウムから得られた知見と活用と今後の子ども政策について (10) 次回開催自治体（名古屋市）への申し送り事項について	
2 西岡前市長により専決処分された議案第52号「小金井市立保育園条例の一部を改正する条例」について (1) 訴訟の経過について (2) 判決の評価について (3) 判決を受けての今後の対応について	以上

# 一般質問の通告について

発言順

18

日曜議会用・残時間用・日曜議会時質問せず

令和 6年 2月 15日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

齋藤 康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 生きる力、自ら学び自ら考える力の育成を</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(ア) 日本の伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するための教育がきる力を育む</li><li>(イ) テスト点数より学習力の強化を</li><li>(ウ) 特色ある教育活動の復活を目指すべき</li><li>(エ) 各務原市の「寺子屋事業」に学ぶ</li></ul> <p>2. 危険な自転車走行の取り締まりを強化すべき</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(ア) 違法自転車走行の実態</li><li>(イ) 緊急対応<ul style="list-style-type: none"><li>① 自転車事故の実態</li><li>② 警察に取り締まり強化の依頼をすべき</li><li>③ 市がパトロール要員を配置して注意喚起の対応をすべき</li><li>④ 東京都の条例による保険加入推進</li></ul></li><li>(ウ) 根本解決に向けて<ul style="list-style-type: none"><li>① 自転車に関する交通法規の指導パンフレット作成を</li><li>② 子供への教育・啓発</li><li>③ 大人への教育・啓発</li><li>④ 条例制定</li></ul></li></ul>	

残時間用

2024年 2月 15日

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

片山かおる

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>1. 公立保育園の廃園を撤回し、子どもの権利を保障した保育行政を。今こそ子どもの権利委員会と子どもの権利条例推進計画が必要。</b></p> <p>日曜議会に引き続き、公立保育園廃園問題と、保育行政について問う。また、2/10.11に開催された「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムや、市民団体「いかそう！子どもの権利条例の会」がまとめた記録集を受けて、「小金井市子どもの権利に関する条例」を、いかに実効性のあるものにしていくのか。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 公立保育園段階的縮小が行われている中で、子どもの権利侵害が心配されている。子どもオンブズパーソンは独自に調査を行い、適切な措置や是正を勧告すべきではないか。また、判決を受けての対応を確認する。</li><li>2) 次期のびゆくこどもプランの中で、公立保育園の役割を位置付け、認証保育所など昔から小金井の保育を支える保育所と共に、保育行政を立て直すべきである。市内を公立保育園5園を中心に5つの地域とし、民間保育園の配置、相互の交流、フォロー体制、学校との連携などを組み立て、公立保育園の定員を徐々に減らし、60人規模の園としながら、子育て支援施設や高齢者福祉施設などと複合化して、地域の子育て支援拠点機能を持つ建て替えを計画しないか。</li><li>3) 子どもの権利条例と子どもオンブズパーソン条例を一体化し、より実効性のある総合条例に変えていく必要があるのではないか。子どもの権利委員会と権利条例推進計画策定について問う。</li></ol> <p><b>2. オーガニック給食導入で、小金井の農業をより活性化しないか。</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 現在の学校給食の指針の実施状況と武蔵野市などを参考に指針の充実見直しの検討は。全国的なオーガニック給食導入の状況をどのように把握しているか。無償化の検討は。保育園での給食の状況は。</li><li>2) 学校給食地場産物・有機農産物使用促進事業を活用し、学校へのオーガニック給食の導入を検討しないか。</li><li>3) 農水省みどりの食料システム戦略に対する対応は。オーガニックビレッジ宣言の検討を。</li></ol>	

# 一般質問の通告について

発言順

20

日曜議会用・残時間用 日曜議会時質問せず

令和 6年 2月 15日  
(西暦 2024)

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

河野 麻美

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>【能登半島地震と優先整備路線（小金井3・4・11号線）について】</b></p> <p>本年1月1日に能登半島地震が発生し、道路をはじめ多くのインフラが被害を受ける事態となった。 災害に強い安全安心な都市基盤の整備に不可欠な都市計画道路について、改めて市長の方針とその後の調整状況を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 優先整備路線について</li><li>・ 市長の要望書について</li><li>・ 近隣市との調整について</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

21

日曜議会用・残時間用・日曜議会時質問せず

令和 6 年 2 月 15 日  
(西暦2024)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

渡辺 大三

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1 学校敷地のデッドスペースの有効活用について	
2 ふれあい通り（宮地楽器ホール南側の東西道路）の交通安全について	
3 武蔵小金井駅nonowa南口からイトーヨーカドー北東端までの敷地内通路（民有地）への雨除け庇（ひさし）の設置について	

